

スプレー缶・カセットボンベのごみの出し方の変更について

1. 背景

平成 3 0 年 1 2 月 1 6 日に、札幌市で発生したスプレー缶の処理に伴う爆発事故をきっかけに、スプレー缶やカセットボンベを家庭から廃棄する際に、穴を開ける行為が危険であるとの見方が出ています。

環境省は、平成 2 7 年 6 月 2 5 日付けの通知で、家庭でのスプレー缶の穴開けを原因とする火災が発生していることから「家庭から廃棄する際、穴開けをしない方向が望ましい」との見解を示しており、近年、穴開けをしなくても回収する自治体が増えてきています。

このような中、札幌市での事故を受け、環境省から平成 3 0 年 1 2 月 2 7 日付けで、改めて同様の内容の通知がありました。

2. 本市の現状

(1) 家庭からの排出方法

スプレー缶等は、中身を使い切ってから穴を開け、破碎ごみで出すことになっています。

(2) 収集運搬

平ボディのトラックで収集運搬しています。(パッカー車は使用していません。)

(3) 施設での処理

スプレー缶を選別後、穴の有無を確認し、穴が開いてない場合は、その場で穴を開け、破碎処理を行っています。

3. 変更点

家庭から排出する際のスプレー缶等の穴開けは不要とし、破碎施設で穴開けを行うこととします。ただし、中身を使い切ってから排出することについては、現状どおりとします。

●実施時期：平成 3 1 年 4 月 1 日から

●周知方法：広報いずも（3 月 2 0 日号、他複数回予定）、ホームページ（市、エコナビ）、
ごみ出しアプリ等

4. 県内の状況

- (1) 穴開け不要 ①実施済み（松江市、浜田市、江津市）
②平成 3 1 年度から実施予定（出雲市、安来市）
- (2) 穴開け継続（益田市、大田市、雲南市）